



令和  
5年度

# しまね建築・住宅 コンクール



Architecture & Houses  
Competition in Shimane



島根県



## しまねの暮らし・住まい方

— 新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して —





## ごあいさつ

島根県知事 丸山 達也

島根県は、全国の他の地域よりも早くから人口減少・少子高齢化という課題に直面しており、長年この課題に向き合ってきました。その中でも、子育てに必要な環境づくりや、地域コミュニティの維持は、重要な課題であります。また、住宅・建築の分野では、生活環境・行動の変化や、バリアフリー化・省エネルギー化等による性能の向上、空き家の有効活用など、暮らしを取り巻く課題やニーズが多様化しており、適切に対応していく必要があります。

県では、こうした諸課題や暮らしの変化に配慮した住宅・建築物の整備、活動の事例を募集し、優れたものをモデル事例として広く県民の皆様を紹介することを目的に、平成19年度から「しまね建築・住宅コンクール」を実施しています。

今年度は、建築物部門及び活動部門をあわせて56件の応募をいただき、審査委員会においてこれらの応募作品・活動に対する厳正な審査を行った結果、最優秀賞の「島根県立大学・島根県立大学短期大学部サテライトキャンパス 石見銀山まちを楽しくするライブラリー」をはじめとする、15件の受賞作品・活動を選定いたしました。

受賞された皆様にご心からお祝いを申し上げますとともに、今回受賞には至らなかったものの、魅力的な作品を応募いただきました皆様、審査を行っていただきました委員の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

県では、今後とも、安全・安心で豊かな暮らしの実現に向け、取組を進めて参ります。県民の皆様におかれましても、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶といたします。

令和6年3月

# 選考総評

審査委員長 細田智久

令和5年度のしまね建築・住宅コンクールは、昨年度同様に「しまねの暮らし・住まい方—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—」をテーマとし、建築物部門と活動部門の募集を行い、56件の応募がありました。感染症対策に概ね目処が付き、経済的活動が再開される中、例年以上の多くの応募があり、多彩な作品や活動に対する審査となりました。

第一次審査では、応募書類により、二次審査への通過作品を各部門あわせて25件選出し、第二次審査では全ての作品において現地審査を行った上で、審査委員会により、表彰候補15件を選定し、その中から最優秀賞1件、優秀賞5件、奨励賞9件を決定しました。

最優秀賞に選定した「島根県立大学・島根県立大学短期大学部サテライトキャンパス 石見銀山まちを楽しくするライブラリー」は、大田市大森町の大型古民家をライブラリーやカフェ等に改修した木造一部2階建ての複合施設です。外観は重要伝統的建造物群保存地区である大森地区らしく、石州瓦と木製縦格子によって修景されていますが、内部は古民家の梁や柱は残しながらも、書架やカフェ、キッチン等は観光客や親子連れ、学生たちが楽しめる工夫が随所に施されています。屋外テラスを含めた1階部分の大半が無料で利用でき、世界遺産の場に地域に開放された空間とそこで活動する学生たちの賑やかな声が聞こえる場所が誕生しています。

優秀賞には、建築物部門から「草房」「住み続けることの家」「少しでも天井の低い家」「あゆみ保育園」と、活動部門から「島根大学教育学部附属幼稚園での木育活動と環境整備」の計5件を選定しました。これら優秀賞は、優れた建築デザインと共に、改修・増築・減築の手法による再生、地域材の活用、子育て環境整備、利用者や家族に向けた優れた創意工夫を高く評価しました。

奨励賞には、建築物部門から「殿町のコートハウス」「住宅型有料老人ホームほくよう」「株式会社テルミック 島根営業所」「川庭の家」「穏陽の家」「江津市庁舎」「益田市立歴史文化交流館（れきしーな）」と、活動部門から「4GATSの開業（クアトロガッツ）」「都野津町古民家コンバージョン～Yoshiゑyashi」の計9件を選定しました。

受賞された建築物や活動が今後のしまねの心温まる暮らしを支えるモデルとなることを期待しています。

令和6年3月

募集  
テーマ

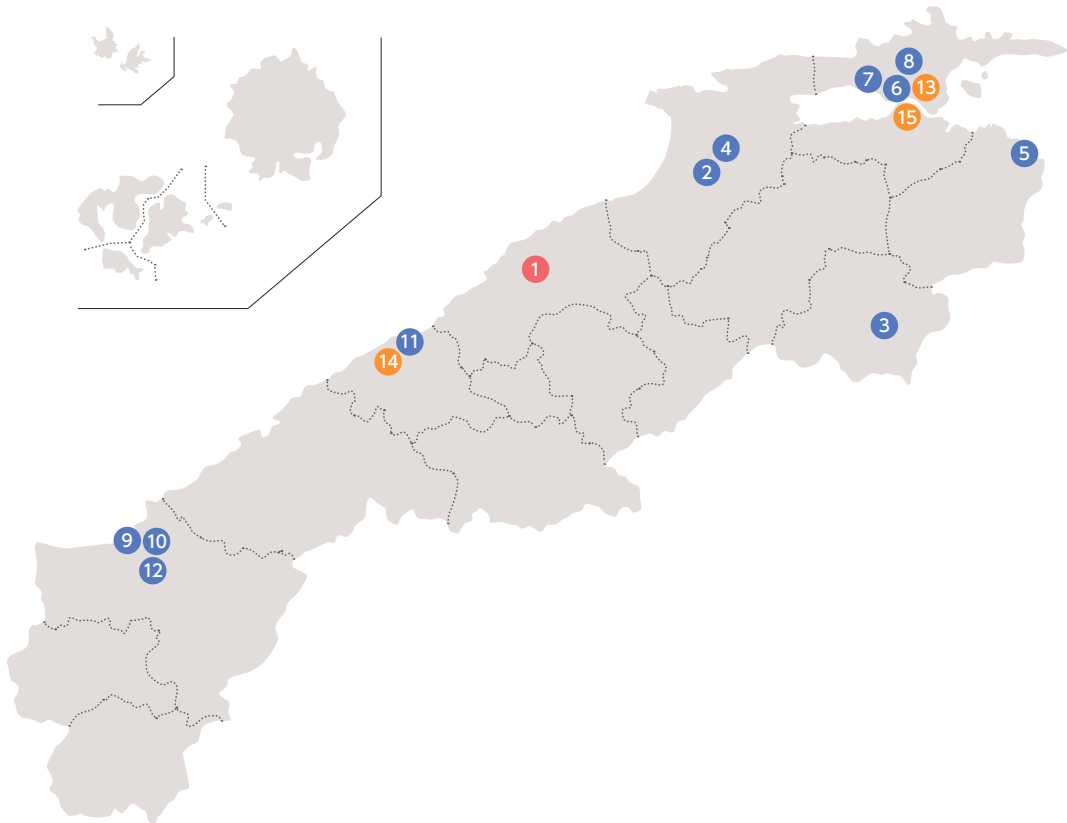
# しまねの暮らし・住まい方

— 新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して —



表彰銘板(石州敷瓦)

受賞  
物件



## 【建築物・活動部門】

- ① 島根県立大学・島根県立大学短期大学部サテライトキャンパス  
「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」  
大田市

## 【建築物部門】

- |                          |                                 |
|--------------------------|---------------------------------|
| ② 草房<br>出雲市              | ⑧ 株式会社テルミック 島根営業所<br>松江市        |
| ③ 住み続けることの家<br>奥出雲町      | ⑨ 川庭の家<br>益田市                   |
| ④ 少しだけ天井の低い家<br>出雲市      | ⑩ 穏陽の家<br>益田市                   |
| ⑤ あゆみ保育園<br>安来市          | ⑪ 江津市庁舎<br>江津市                  |
| ⑥ 殿町のコートハウス<br>松江市       | ⑫ 益田市立歴史文化交流館<br>(れきしーな)<br>益田市 |
| ⑦ 住宅型有料老人ホーム ほくよう<br>松江市 |                                 |

## 【活動部門】

- ⑬ 島根大学教育学部附属幼稚園での  
木育活動と環境整備  
松江市
- ⑭ 都野津町古民家コンバージョン  
～ Yoshiyoshi yashi ～  
江津市
- ⑮ 4GATSの開業  
松江市

# 島根県立大学・島根県立大学短期大学部サテライトキャンパス 石見銀山まちを楽しくするライブラリー

## 最優秀賞



## 学生が集い、しまねの工芸・文化が持つ多彩な魅力が感じられる大森の新たな拠点

この建物は、県立大学の学生の実習や活動の場として、世界遺産・重要伝統的建造物群保存地区である大田市大森町の古民家を改修した複合施設です。地元企業の協力のもと、木造一部2階建ての大型古民家の外観修復と共に、ライブラリー、カフェ、屋外テラス、蔵を改修したギャラリーや実習スペース、2階のコワーキングスペースが設けられています。

カフェを併設した無料のライブラリーには、県立大学の教員がデザインし、県内企業が製作に協力した大きな行燈をイメージした書架、石見銀山の坑道（間歩）をイメージした絵本用書架が設けられています。敷居に残る蛇の模様や坪庭の鉾石、改修時に加えられた石州タイルや木製組子等から、しまねの古今の工芸技術・歴史文化を感じることができます。入口は開放され、縦格子付きの窓からは内部の行燈書架や学生の姿が大森の通りに彩りを与えています。ふらりと立ち寄れる休憩所、若者の賑わいを感じる場所として、大森の新しい魅力スポットになっています。

現地調査の際にも、カフェを運営する学生と来訪された地元住民との会話や笑顔を見ることができ、この建物を背景として、思わず写真に収めたくなるシーンの連続でした。建築物と活動、両者の魅力が重なり合う素晴らしい作品であると高く評価されました。

(細田智久)





- ▶ 建築主  
中村プレイス 株式会社

---

- ▶ 活動実施者  
公立大学法人 島根県立大学

---

- ▶ 設計者  
雨上 株式会社

---

- ▶ 施工者  
山下建築工房 株式会社



建物概要

- 所在地 / 大田市
- 用途 / 複合施設
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修



## 里山に建つ心地よい空間のある草屋

この建物は、西に眺望が開けた高台にある、オーナーが身近な素材を使って建築された小さなアトリエです。オーナー自ら建築に携われ、使用する主な材料は日本で古くから使用されている材料を用いられています。

屋根材の茅は数年前から河川敷や湖畔で刈り、市内の建設会社の倉庫で保管されているものを使用し、草屋根は根切土にパーライトを混入させた高麗芝張りとなっています。茅と草屋根で適切な保温と蒸散が期待されます。垂木等に用いられている竹は市内で切られた真竹が使用されています。

外壁の表面の一部は杉皮張り竹押さえて施工されており、茅はオーナー自ら1年をかけて製作されています。土壁は根切土に砂と麻を加えて調合したものが用いられています。

内部は、囲炉裏のある空間と土間の空間で構成されています。囲炉裏のある空間は、踊り口から入ると、茅草屋根の裏側の母屋や竹等が、わら縄で結ばれているところが見られます。外部に面する障子は取り外すことができ、濡れ縁は内部と外部を繋ぐ心地よい空間となっています。土間の空間は、建物南側に設けた水盤から反射された日の光が室内に入るように工夫がなされています。

茅葺きの屋根と緑化された屋根、土壁と茅葺きの壁が郊外の田園風景になじむ建築となっています。

(持田 明)

- ▶ 建築主  
一級建築士事務所江角アトリエ
- ▶ 設計者  
一級建築士事務所江角アトリエ
- ▶ 施工者  
株式会社 内藤組



### 建物概要

- 所在地 / 出雲市
- 用途 / アトリエ
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築



# 住み続けることの家



## 住まい手と家の時間をつなぐ

奥出雲の山間、くねくねとした道を走っていくとぼつりと真壁の和小屋組の建物が現れました。雪の多い奥出雲らしい歴史を感じる伝統工法の大きな和風住宅の改修作品です。

当初はハウスメーカーの新築を希望していた施主は、「元住んでいた古民家である自宅を残したほうが良い」との周囲の方からの声を受け、考えを変えて改修工事に変更されました。長年この場所で何代もの家族の生活を支えてきた家を改修することによって、住み続けるという大きな決断をされました。

大きな家を減築することで、コンパクトに生活できる必要な部屋数を残すと共に、半屋外の新たな空間を生み出す計画とされています。外壁を撤去し減築することによって、既存の屋根と柱などの架構フレームで構成されたテラスが作られました。このテラス部分は、日除け雨除けとなり、雪の多い冬でも雪の積もらない1年を通して利用できる場所となっており、今後住み続ける人の手によってさまざまな使われ方をしていくことが想像されます。

内装の壁は漆喰と、既存の床板や天井板を利用した仕上げで予算を押さえながらも今後も長く使えるよう各所に工夫がされていました。今回の改修工事によって新しい空間が生まれ、住まい手と一緒に変化していく家となったように感じました。

(金森菜津子)

- ▶ 建築主  
個人
- ▶ 設計者  
原浩二建築設計事務所
- ▶ 施工者  
有限会社 三沢建設



### 建物概要

- 所在地 / 仁多郡奥出雲町
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修

# 少しでも天井の低い家



## 光線と視線と動線が交わる空間

この建物は、広い敷地に大きく建っていた旧家屋を減築しコンパクトな家に改修された作品です。神社に続く参道の入り口に建ち、昔ながらの家の趣を残しつつ現在のご家族一人ひとりの居場所や生活動線がうまく交わるように計画されていました。

暗くなりがちな建物の中央近くには光天井が設けられ、天窓からの光は2階の寝室を通して1階の水廻りへ続く廊下の床を明るく照らしています。その光は1階のリビングやキッチン、書斎からも見ることができ、軒が深く光が届きにくい一階の奥に、外部の明るさを柔らかく取り込んでいました。

既存の建物の階高が低い為、天井や建具が少し低めに設計されており、決して広くない住居部分でしたが、各所で視線が奥まで通り抜けるよう工夫されているため、奥行を感じることができます。中央にスリット階段を置くことにより、壁を設けず空間をゾーン分けしてあるため、上下階や水回りなどへ行き来する際の回遊性と視線の交わりが生まれ、家族の存在を感じながら過ごせる居心地の良い空間となっています。

(金森菜津子)

- ▶ 建築主  
個人

---

- ▶ 設計者  
原浩二建築設計事務所

---

- ▶ 施工者  
株式会社 内藤組



### 建物概要

- 所在地 / 出雲市
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修

## あゆみ保育園



## 大山と園庭と室内が笑い声で繋がる建物

この建物は、安来市の中心部から約4キロ離れた中海干拓地の一角に立地する木造平屋建て（一部2階建て）の認可保育所です。隣は桜並木が美しい小学校のグラウンドで、その遙か向こうには雄大な大山を望むことができます。以前の建物は別の場所に建設されていましたが、土砂災害特別警戒区域にかかることから移転新築されました。

施設の形状は三角形となっており、年齢の異なる子どもが一つの大きな空間で過ごせるよう、各保育室は廊下で繋ぐのではなく、施設中央部分に設けられた吹き抜けの遊戯室を囲むように配置されています。また、保育室（5歳児用を除く）はロールスクリーンで簡易に仕切られており、ロールスクリーンを上げると開放感のある大きな空間となります。内部の床は表面がヒノキのCLT、遊戯室を囲む柱は杉の丸柱、壁には杉板が用いられるなど木材がふんだんに使用されています。遊戯室はテラスを介して園庭に面しており、テラスとは12連の大きな木製扉で仕切られています。天気の良い日は、扉をすべて開くことで遊戯室と園庭を一体的に利用することができます。

年齢の違う子どもたちが遊戯室と園庭で走り回ったり、一緒におやつを食べたりしている姿が大変印象に残りました。（持田 明）

- ▶ 建築主  
社会福祉法人 あゆみ福祉会
- ▶ 設計者  
安藤建築設計室 株式会社
- ▶ 施工者  
平井建設 株式会社



## 建物概要

- 所在地 / 安来市
- 用途 / 保育園
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築

# 殿町のコートハウス



## 短冊形の敷地に3つの庭を持ち、まちなかでも四季を感じながら生活できる平屋の住宅

この建物は、松江市殿町内で建替えが行われた切妻屋根を持つ木造平屋の住宅です。正面外観はモノトーンに抑えられた外装と玄関前の板張りの軒下、木格子の建具の奥に前庭の植栽が見え、上品な旅館を思わせる趣ある外観です。町家に多い奥行き深い短冊状の敷地で、内部のリビング空間は棟木が省略され、左手1本・右手2本の登り垂木同士が緊結された美しい船底天井を持ち、ハイサイドとトップライトから適切に採光がとられています。建物中央と奥の2つの中庭からは、柔らかな光が室内各所を照らし、中央の中庭正面にあたる廊下部分には書棚内に小さな木製ベンチが設けられ、中庭の植栽や風雨の様子を見て、ほっと息をつき穏やかな気持ちになれる場所が作られています。壁の珪藻土、県産材の松・杉・桧、福光石や既存の建物内にあった庭石等が各所に丁寧に用いられ、賑わいのある市街地の通りに面する敷地でありながら、静かで落ち着いた住空間が作られています。

正面の広い駐車場スペースと広い軒下を持つ玄関前スペース、階段の無い平屋等、終の棲家を考えられた計画が行われており、まちなかでの豊かな生活を続けてもらえる工夫に溢れた住宅です。  
(細田智久)

- ▶ 建築主  
個人
- ▶ 設計者  
一級建築士事務所江角アトリエ
- ▶ 施工者  
有限会社 高橋工務店



### 建物概要

- 所在地 / 松江市
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築

## 住宅型有料老人ホーム ほくよう



## 宍道湖北岸の田園風景に佇む高齢者福祉施設

この建物は、松江西市浜佐陀町に新築された木造2階建ての高齢者福祉施設です。高齢化が進む中で、要介護度の比較的高い入居者の方々を受け入れ、安心して生活できる住まいづくりの需要は今後一層高まっていくと考えられます。建物は県産木材を多く使用した木造在来工法で建設され、宍道湖北岸地域の田園風景に配慮した配色、高さを抑えた緩やかな切妻屋根が採用されています。沿道には生垣、中庭には植栽が施され、外装材で使用されている茶色のセメント系素材は経年変化によって色味の変化が楽しめます。

屋内のゆったりとした廊下には、時間の変化と共に照度が自動調整される照明や、交差部に取り付けられた波動スピーカーから落ち着いた音色が流れること、入居者の気持ちに寄り添った工夫が見られます。また、木製建具や土塗り壁のエントランス、燃えしろ設計による桧化粧柱を持つ食堂、家族が入居者と過ごせる上品な特別室も設けられています。

北面の各窓からは国道を行き交う車、一畑電車、刈り取り後の田に集う白鳥の姿も見られる好適地に位置し、こうした動きのある風景が入居者の生活リズムに刺激を与え、スタッフとの会話のきっかけも生み出すことでしょう。

(細田智久)

- ▶ 建築主  
北陽福祉サービス 株式会社
- ▶ 設計者  
蔵本総建コンサルタント
- ▶ 施工者  
株式会社 佐藤組



## 建物概要

- 所在地 / 松江市
- 用途 / 有料老人ホーム
- 構造 / 木造、一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 工事種別 / 新築

## 株式会社テルミック 島根営業所



## DXで新しい働き方を具現化した空間

この建物は、松江市内を眼下に望めることができる眺望の良いソフトビジネスパーク島根の高台に建築されており、周辺の山々の稜線の景観を崩すことが無いよう、水平を基調とした片流れ屋根の平屋建てで建築されています。

ここで働いている方々はSNS等を用いた営業を行っておられ、勤務時間中はこの建物内で過ごされることが多いことから、室内空間はもとより屋外空間も含めた職場環境への配慮が求められます。

施主の要望は、「ここで働くスタッフの皆さんが毎日生き生きと楽しく、また、これからの多様な働き方に対応できる環境、そして島根での新たな雇用の場となる魅力的なオフィス」であり、設計者はその具現化に努められました。

建物内は多様な要求に応えられるものとするため、執務室においては一つの大きな空間で構成され、また、色彩等への配慮が感じられました。室内の幅は8mと広く、それを支える梁として再生可能な工業資源である木材を利用したJWOOD工法が採用されており、天井を見上げると大きな梁が心地よい間隔で配置されていることがわかります。また、自席以外にも仕事ができるスペースが多数準備されています。眺望の良い建物南側には執務空間と繋がったオープンテラスがあり、休憩や食事などでも使うことができます。

建物内外に、新しい働き方ができる魅力的なオフィス空間と感じました。

(持田 明)

- ▶ 建築主  
株式会社 テルミック
- ▶ 設計者  
株式会社 山根一史建築設計事務所
- ▶ 施工者  
株式会社 トガノ建設



## 建物概要

- 所在地 / 松江市
- 用途 / 事務所
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築

## 川庭の家



## 環境を活かし、利用する ～庭と共に暮らす家～

大喜庵（画聖・雪舟にゆかりのある古刹）がある小高い丘のふもとにあり、南側に益田川水系の今市川が静かに流れています。

金属板葺きの片流れの屋根の高さは低く抑えられており、外壁は吹き付け仕上げと木質材を組み合わせ、玄関ポーチには踏み石を配置するなど、素材へのこだわりが感じられます。

平面構成は、川沿いに配置した庭を囲むようにやや変形のL字型となっています。キッチン・浴室などの水廻りを集約したブロックと寝室・子ども部屋などプライベート空間のブロックを繋ぐように配置されたりピンギは土間風に仕上げがあり、この床仕上げは軒下まで続いています。外との境界を敢えてあいまいにすることで、外に対して開放的な中間領域が生まれ、庭や周辺環境とも緩やかにつながり、暮らしの質が一段引き上がったように感じます。環境を活かし、利用した住まいは時と共に庭の変化や子どもの成長などを静かに見守ることの出来る空間となるでしょう。

（福原昌代）

- ▶ 建築主  
個人
- ▶ 設計者  
有限会社 一級建築士事務所ヤマシタ設計
- ▶ 施工者  
岩見建設 有限会社  
▶ 外構設計施工  
LANDSCAPE NIWATAN DESIGN + ARTISAN OFFICE



## 建物概要

- 所在地/益田市
- 用途/住宅
- 構造/木造
- 工事種別/新築

# 穏陽の家



## 中庭がつなぐ和みの空間

外観は、切妻屋根と片流れの屋根を複数組み合わせ、塗り壁をメインにした外壁に木製縦格子をアクセントとしたモダンなデザインに仕上がっています。

平面構成は、中庭のあるコの字型でコンパクトにまとめられています。南側の道路面には木製縦格子が配置され、防犯性と採光・通風を両立させています。

玄関に入ると正面のアーチ開口から広がる中庭に目が留まります。この中庭が見えることで、少し低めに設定された天井でも空間に奥行きと開放感が生まれます。来客をもてなす和室は玄関に隣接させ、短い廊下でプライベート空間へと誘います。平家部分にあるリビングは、内から外へと続く化粧垂木が現しとなった勾配天井で開放性を持たせ、メリハリのある空間を演出しています。木造の素材感を活かした内装デザインは、シンプルな中にも温もりや居心地の良さが伝わってきます。

幹線道路沿いの学校や住宅が立ち並ぶ周辺環境ですが、木製縦格子で住空間をバランスよく分節し、人と光と風の流れがゆるやかに交わる穏やかで安らぎのある住空間が広がっていました。

(福原昌代)

- ▶ 建築主  
個人
- ▶ 設計者  
大畑建設 株式会社
- ▶ 施工者  
大畑建設 株式会社

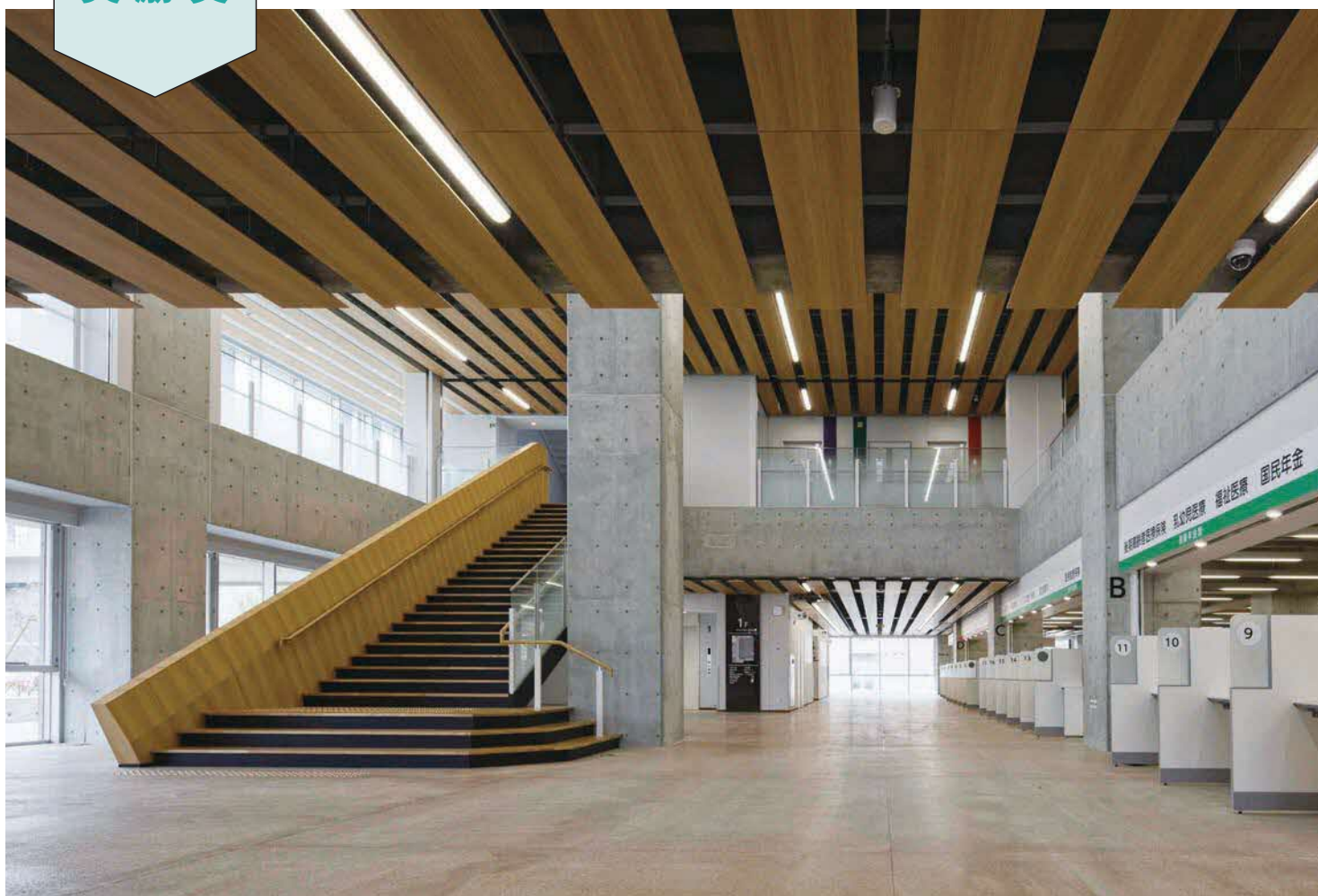


### 建物概要

- 所在地 / 益田市
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築



## 江津市庁舎



## 石州瓦のギャラリーとも言える庁舎

この建物は、江津市の新しい市庁舎として、総合病院や中学校等が集約的に整備されてきたシビックセンターゾーンに移転新築されたものです。石州赤瓦の混ぜ葺き屋根を持つ鉄筋コンクリート造4階建てですが、北側は3階建てとされ、大きなボリュームとならないよう分節されています。空調設備には地中熱が活用され、省エネルギーにも配慮されています。

1階の市民窓口の周辺には地域材が多く使用され、風除室の床材や巾木部分には石州タイル、石州瓦チップ入りの床の土間コンクリート、トイレ手洗い器も石州瓦色の陶器が使用されています。この他にも屋外のベンチの台座部分に石州瓦が用いられています。石州瓦産業の一大拠点である江津市の新庁舎に相応しい、瓦やタイルの様々な活用法と耐久性の高さを知らせるギャラリーとも言える内容です。

1階と2階はトップライトを持つ吹抜けと階段でつながり、2階議場は可動式の議員席により多目的ホールを兼ね、面積の有効利用が図られています。自由開放される4階の展望広場・デッキからはシビックセンターゾーンを一望できます。

市庁舎はゾーンの玄関にあたる建物であり、市民の方々の思いを結び、まちづくりの拠点となることが期待されます。  
(細田智久)

- ▶ 建築主  
江津市
- ▶ 設計者  
株式会社 佐藤総合計画 関西オフィス
- ▶ 施工者  
今井産業・永井建設・江津土建 特別共同企業体



## 建物概要

- 所在地/江津市
- 用途/庁舎
- 構造/鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- 工事種別/新築

## 益田市立歴史文化交流館(れきしーな)



## 歴史的建造物の再生 ～新たな役割を担って～

この建物は、大正10年に美濃郡役所として建設されました。大正期の郡役所の特徴でもある正面に車寄せと左右前方に突出する入母屋造りの翼屋が付く平面構成で、外観は軒が高く、高窓があり、外壁の上部は真壁造りの漆喰塗り、下部は杉の下見板張りとなっています。

時代と共に警察署、役所などを経て、昭和58年5月に益田市立歴史民俗資料館として開館されましたが、同年7月に西部地域を襲った豪雨災害により被災したため、昭和60年の河川道改良工事に伴う曳家工事を行ったのち、再び開館されました。平成8年には登録有形文化財として登録されましたが、平成31年以降は老朽化・耐震性不足のため、休館していました。

今回、耐震化や利活用のため内部は大きく改修されましたが、外部は屋根の葺き替えや外壁の塗替えを行い、創建当初の外観を保っています。益田川沿いの中世の史跡や寺院が集中する地区にありますが、石州瓦の屋根は独自の色彩を放ち、落ち着きと風格を漂わせつつ地域の景観要素となり、歴史的建造物の魅力を感じさせます。

日本遺産・中世益田を紹介する拠点施設として新たな役割を担う建物が、新たな益田市の創造につながることを期待します。(福原昌代)

- ▶ 建築主  
益田市
- ▶ 設計者  
株式会社 アートスタッフ建築事務所
- ▶ 施工者  
株式会社 森本建設



## 建物概要

- 所在地 / 益田市
- 用途 / 複合施設
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修

## 島根大学教育学部附属幼稚園での木育活動と環境整備



## 木と樹による木育プログラム

この活動は、教育プログラムとして「木育」に取り組んでいる島根大学教育学部附属幼稚園が同大学総合理工学部建築デザイン学科等との協働プロジェクトとして実施されているものです。

これまでに、幼稚園の空き教室を改修して木育等の拠点となる「木音（モネ）の部屋」の整備や、園庭へのツリーハウスの整備が行われています。また、園児との木育活動の一環として、木材を使用したものづくりや、整備したツリーハウスの再塗装といった活動も島根大学の学生の協力のもと実施されています。

「木音（モネ）の部屋」は「木に触る・木で作る・樹で遊ぶ」をテーマとした就学前教育を実践する場として活用されており、2019年のウッドデザイン賞にも選ばれています。室内は内装が木質化されており、備え付けの棚や木製遊具と内装の木材が継ぎ目なく協調された独自の室内空間を構成しています。

テラスは、屋内と一体的に利用できるような工夫がされており、50種類もの木々が植わっている園庭やそこに建つツリーハウスをつなぐ役割も担っています。

今後も、木と樹の魅力を伝えるこの活動が地域連携や産学連携のもとで継続されることを期待します。

(坂本拓三)

- ▶ 活動実施者  
島根大学教育学部附属幼稚園
- ▶ 主な活動場所  
松江市



## 都野津町古民家コンバージョン ~Yoshi&amp;yashi~



## 江津市に現れた地域のカフェづくりプロジェクト

このプロジェクトは、東京から島根にIターンされたオーナーが、江津市都野津町の旧国道沿いにある築90年の古民家を「地域のカフェにしたい」という思いから始められたものです。現在、この古民家はカフェだけではなく、ギャラリースペースとしても活用されています。

この建物の外観は、周辺の赤瓦の街並みとの調和に配慮してリニューアルされており、出入口に設けられた新しい建具はカフェらしさが表れたものとなっています。

内装は、古民家の趣を残した和モダンなつくりで、棚等の什器を含めたデザインや施工は、島根職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ島根）学生の協力のもと実施されています。また、この建物を地域の拠点にしたいとのことから、一部の施工を一般の方が参加可能なワークショップ形式としても実施されています。

屋内の家具類は、近隣にある江津工業高校の加工機器を使用して製作されており、机や椅子の特徴的なデザインには、学生の創意工夫が見受けられます。

地域の活力が随所にみられるこのプロジェクトは、今後の江津地区独自のまちづくりに繋がるものとして大変期待できるものと感じました。（坂本拓三）

- ▶ 活動実施者  
島根職業能力開発短期大学校
- ▶ 主な活動場所  
江津市



## 4GATSの開業



## 学生たちのきらめく創造力に溢れた空き家再生の取組み

この活動は、島根大学総合理工学部建築デザイン学科の学生5名と松江市出身のインテリアデザイナーが共同で実施した建物のコンバージョンプロジェクトです。

建物のデザインは、イギリスのヴィクトリアン様式にSF（サイエンフィクション）の要素を加えたネオヴィクトリアン（スチームパンク）の造形がうかがえるものとなっています。

このプロジェクトの一番の特徴は、建物の部分解体から内装工事、店舗の運営（マーケティング）補助までを学生が行っていることであり、学生のセンスが細部に生かされているものと感じました。内装は、古材や電化製品等の廃材の活用とエイジング処理が特徴的で、それぞれが丁寧に加工され、資源の有効的な活用法としても評価できるものでした。

このプロジェクトの広報を見たという県外の方からオファーが来ているとのこと、このプロジェクトが他地域にも広がる可能性があり、空き家の活用や建物の再生手法として、市場に流通する可能性を感じました。

また、学生の参加によるプロジェクトが、まちづくりの手法として地域への波及効果も含めた今後の展開にも期待します。  
（坂本拓三）

- ▶活動実施者  
2.B.E.C
- ▶主な活動場所  
松江市



募集  
テーマ

## しまねの暮らし・住まい方

—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—

募集  
要件

- (1) 島根県内において令和5年9月8日までに整備又は実施されたものであって、以下に該当するものです。
- (2) 応募は自薦・他薦を問いません。個人・団体・企業、自治体等どなたでも可能です。
- (3) 応募の部門は、「建築物部門」、「活動部門」の2種類があります。

### 建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）、修繕、又は模様替えされた建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即した、以下のいずれかに該当するもの

- ① 建築主、利用者などに配慮したもの
- ② 地域特性を活かしたもの
- ③ 既存建築物を活用したもの
- ④ 環境に配慮したもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

### 活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取組や活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- ① 地域特性を活かしたもの
- ② 地域住民への意識啓発に効果的なもの
- ③ 住民や地域に貢献しているもの
- ④ 積極的、継続的に取り組まれているもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

審査  
経過

#### 募集結果

募集期間●令和5年7月1日～9月29日

応募総数●56件

#### 審査経過

第1次審査●書類審査により第2次審査の対象を選定（活動部門は全て第2次審査へ）

審査期間●令和5年10月4日～10月16日

選出件数●25件

第2次審査●現地審査の上、審査委員会により表彰候補を選定

現地審査●令和5年11月2日～11月20日

最終審査会●令和5年12月5日

選出件数●15件 【両部門】1件 【建築物部門】11件 【活動部門】3件

#### 表彰式

開催日●令和6年3月12日

授与式●建築主又は活動実施者、設計者及び施工者に賞状を授与します。

また、建築主及び活動実施者に、副賞として表彰銘板（石州敷瓦）を贈呈します。

審査  
委員

《審査委員長》 細田 智久（国立大学法人 島根大学 総合理工学部建築デザイン学科 教授）

《審査委員》 金森菜津子（（一社）島根県建築士会 女性委員長）

坂本 拓三（（一社）島根県建築士事務所協会 副会長）

福原 昌代（有限会社大石建築事務所 代表）

持田 明（大田市 参与）

## 第2次審査対象一覧

### ●建築物部門

名称	所在地	名称	所在地
殿町のコートハウス	松江市	少しだけ天井の低い家	出雲市
草房	出雲市	ヨリアイーナ東出雲	松江市
住宅型有料老人ホーム ほくよう	松江市	縁満なハコ	松江市
株式会社テルミック 島根営業所	松江市	「HOHOEMI」(みとや世代間交流施設ほほ笑み)	雲南市
sagiura no atelier	出雲市	あゆみ保育園	安来市
川庭の家	益田市	家具の家	邑南町
穂陽の家	益田市	江津市庁舎	江津市
七日市の住宅	邑南町	出西の棲家	出雲市
懐古舎（再生古民家）	益田市	穴道の家	松江市
住み続けることの家	奥出雲町	益田市立歴史文化交流館（れきしーな）	益田市

### ●活動部門

名称	所在地
島根県立大学・島根県立大学短期大学部 サテライトキャンパス 「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」	大田市
都野津町古民家コンバージョン ～Yoshiyashi～	江津市
bulk store kinotoma	出雲市
島根大学教育学部附属幼稚園での 木育活動と環境整備	松江市
4GATSの開業	松江市

# 過去の受賞 作品・活動一覧

## 平成19年度

- 【最優秀賞】  
●松江市雑賀八区町内会救助隊 (松江市)
- 【優秀賞】  
●しまねの木の家 (松江市)  
●安国寺本堂改修工事 (松江市)  
●奥谷町東区防災隊の活動 (松江市)
- 【奨励賞】  
●古民家改修「囲いの家」  
●附帯屋根瓦工事耐震化及び耐震改修  
●ポートピアビル (松江市)  
●岩田邸 (安来市)  
●松江しんじ湖温泉駅 (松江市)  
●災害避難所におけるプライベートスペース「6家族のためのささやかな心空間」の試作および組立てマニュアルDVD制作事業

## 平成20年度

- 【設計・工事・技術提案部門】  
【奨励賞】  
●JR安来駅 観光交流プラザ (安来市)  
●海士中学校工コ改修 (海士町)
- 【防災活動部門】  
【奨励賞】  
●「耐震改修モデル設計による地域学習会」への参加を通じた耐震診断技術の習得及び耐震意識の啓発  
●わが家の耐震改修工事

## 平成21年度

- 【技術部門】  
【優秀賞】  
●菱浦魚集緑地広場整備 (菱浦蔵改修工事) (海士町)
- 【奨励賞】  
●美保関橋津屋改修工事 (古民家) (松江市)  
●K邸 (松江市)  
●本妙寺改修工事 (出雲市)
- 【活動部門】  
【特別賞】  
●地震防災ポスター (島根大学教育学部附属小学校)

## 平成22年度

- 【技術部門】 (リフォーム工事)  
【優秀賞】  
●時をつなぐ家 (出雲市)
- 【奨励賞】  
●石見瓦再生の家 (鹿足部)  
●古民家劇的大改造 (松江市)  
●A邸増改築工事 (松江市)
- 【技術部門】 (新築工事)  
【奨励賞】  
●木の香の家 (K邸) (浜田市)
- 【活動部門】 (地域防災活動)  
【優秀賞】  
●防災活動 (地震防災訓練) (松江市)
- 【奨励賞】  
●緊急地震速報を活用した県内初の避難訓練 (松江市)  
●岡の目地区防災訓練 (松江市)

## 平成23年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●ワークくわの木江津事業所 (江津市)
- 【優秀賞】  
●渡橋の家 (出雲市)  
●母里の家 (安来市)  
●カイダンドンノイエ (松江市)
- 【奨励賞】  
●「家族の健康を守る家」K邸 (松江市)  
●パティオのある家 (出雲市)  
●五箇小学校木造校舎耐震改修 (隠岐の島町)  
●石州瓦の家 (大田市)  
●「築後139年を住み継ぐ、古民家再生」 (益田市)
- 【活動部門】  
【奨励賞】  
●人間交流センターを舞台に広がる都市交流活動 (雲南市)  
●地元の木材を生かした読書空間づくり活動 (海士町)

- 平成23年度法吉地区防災訓練 (松江市)  
●街の魅力を再発見するまちあるき企画の運営 (松江市)

## 平成24年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●コクパンの家 (松江市)
- 【優秀賞】  
●空に向う家 (松江市)  
●O邸 (雲南市)  
●新しい出発「坂の下café morikame」 (出雲市)
- 【奨励賞】  
●先人の技術を受け継ぐ家 (安来市)  
●漆喰の家 (出雲市)  
●「一畑電車大社前駅」の新しいかたち (出雲市)  
●そらうみの家 (浜田市)  
●湖騒の住処 (益田市)
- 【活動部門】  
【奨励賞】  
●避難所運営体験の実践 (出雲市)

## 平成25年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●家族が繋がる3世帯住宅 (益田市)
- 【優秀賞】  
●古志原の家 (松江市)  
●浜田市立中央図書館 (浜田市)  
●Traditional Style (出雲市)  
●北堀のいえ 民家再生 (松江市)  
●見晴らしの家 (松江市)  
●段々畑の家 (出雲市)  
●食事処 小望月 (出雲市)
- 【活動部門】  
【奨励賞】  
●「訪れる場所作り」佐世だんたん工房 (雲南市)  
●大久地区災害対策活動 (隠岐の島町)  
●奥出雲町わがとこ再発見ワークショップ (奥出雲町)

## 平成26年度

- 【建築物部門】  
【優秀賞】  
●かずと会館 (安来市)  
●土間と大黒柱の有る家 (益田市)  
●のび・のび・のび (安来市)
- 【奨励賞】  
●中庭のあるローコスト住宅 (出雲市)  
●求院の家 (出雲市)  
●ギャラリー記田屋 (出雲市)  
●ふるさと定住の古民家再生 (安来市)  
●奥谷の家 (松江市)  
●大田の家 (大田市)  
●古民家DIY (松江市)  
●外中原町の2世帯住宅 (松江市)
- 【活動部門】  
【奨励賞】  
●まちなか再生拠点 オープンスペース ichi (出雲市)  
●旧堀氏庭園活用協議会 (津和野町)

## 平成27年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●安来切川の家 (安来市)
- 【優秀賞】  
●土線の家 (奥出雲町)  
●抱陽の家 (益田市)
- 【奨励賞】  
●海士町立海士小学校 (海士町)  
●凹みの家 (松江市)  
●どま・まど・どま (松江市)  
●清の家 中間領域を持つ二重断熱の家 (邑南町)  
●姫原の住宅+事務所 (出雲市)  
●横浜町の家 (松江市)
- 【活動部門】  
【優秀賞】  
●平成郷蔵普請 (江津市)  
●三日市ラボ ~空き家再生プロジェクト~ (雲南市)

## 平成28年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●善徳寺本堂 (雲南市)

- 【優秀賞】  
●稗原の家 (出雲市)  
●ゆめの森こども園…だいかそくが集う家 (出雲市)
- 【奨励賞】  
●抱陽の家2 (益田市)  
●外中原の家 (松江市)  
●Re: 佐白の家 (奥出雲町)  
●海士町立福井小学校 (海士町)  
●丘の上の家 (松江市)  
●灰色の家 (出雲市)

## 平成29年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●広瀬基督教会 (安来市)
- 【優秀賞】  
●八川の家/量カフェ (奥出雲町)  
●T様邸個人住宅新築工事 (松江市)  
●「城下町」N邸 (松江市)
- 【奨励賞】  
●日本赤十字社 益田赤十字病院 院内保育所 (益田市)  
●三刀屋の改修 (雲南市)  
●蔵 懐古空間 一花 (雲南市)  
●松江冷機株式会社 新社屋新築工事 (松江市)  
●ささの湯荘 別邸 鶯泉 (安来市)  
●家具師の家 (出雲市)  
●出雲邸 (出雲市)  
●町屋のキッチン (出雲市)
- 【活動部門】  
【奨励賞】  
●井原を知る勉強会 (邑南町)

## 平成30年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●大橋川河畔の家 (松江市)
- 【優秀賞】  
●ひゃくどみクリニック (出雲市)  
●古民家オフィスみらいと奥出雲 (奥出雲町)  
●赤江の家 (安来市)
- 【奨励賞】  
●茅葺き屋根のある家 (出雲市)  
●隅木の家 (浜田市)  
●大屋根の家 (出雲市)  
●帯刀さんの家 (出雲市)  
●四姉妹の家 (出雲市)  
●サクニマス交流センター (吉賀町)
- 【活動部門】  
【奨励賞】  
●NPO法人ひらた空き家再生舎 (出雲市)  
●矢上駅 (出雲市)  
●住民と学生の参加による「隠岐の島町NOGINOVIハウス」改修事業の取り組み

## 令和元年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●日貫一日 安田邸・一損 (邑南町)
- 【優秀賞】  
●温泉津の住宅 (大田市)  
●中庭を持つ静謐な家 (益田市)
- 【奨励賞】  
●PATISSERIE SUBSTANCE (出雲市)  
●LEON building (出雲市)  
●段床のある豊の家 (雲南市)  
●島根県立飯南高校寄宿舎【月根尾寮】 (飯南町)  
●松江堀川の家 (松江市)  
●宗教法人神慈秀明会 松江出張所 (松江市)  
●黒の古民家 (安来市)
- 【活動部門】  
【奨励賞】  
●大学生による美保関古民家改修プロジェクト (松江市)  
●書斎庵 (個人図書室) (松江市)  
●江津駅前ビルのリノベーション (江津市)

## 令和2年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●光幼保育園 (出雲市)
- 【優秀賞】  
●願い雛ミュージアム (出雲市)  
●神名火山の古民家 (出雲市)

- 日原にぎわい創出拠点「かわべ」 (津和野町)  
●M-1邸 (松江市)  
●郡山のレストラン (邑南町)
- 【奨励賞】  
●雲南の方形屋根 (雲南市)  
●中庭を囲む平屋 (出雲市)  
●高瀬川の家 (出雲市)  
●RISTORANTE MIA PAESE ~ 私の故郷 (浜田市)  
●方杖の家 (邑南町)  
●徳應寺納骨堂 無量寿堂 (安来市)  
●西ノ島町コミュニティ図書館「いなかあし」 (西ノ島町)
- 【活動部門】  
【優秀賞】  
●天神127 (松江市)
- 【奨励賞】  
●カフェ&ベッドうづい通信部 (邑南町)  
●ショッピングリハビリ (ひかりサロン) (雲南市)  
●アートビレッジ構想実現グループ (古典技法絵画研究所・親木遊舎倶楽部) (雲南市)  
●コミュニティカフェ Orange (川本町) 【特別賞】  
●蔵: Re (松江市)

## 令和3年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●湖畔の家 (松江市)
- 【優秀賞】  
●「専光寺」鐘楼門 (益田市)  
●株式会社シーエスエー 新社屋新築工事 (出雲市)  
●雲南古民家2021 (雲南市)  
●Entō Annex NEST (海士町)  
●古民家カフェ「茶と糺 梅田屋」 (邑南町)
- 【奨励賞】  
●Y邸 新築工事 (出雲市)  
●いしわみ温泉「霧の湯」 (邑南町)  
●西ノ島町庁舎 (西ノ島町)  
●なかのや旅館 (大田市)  
●ひよし保育園 (松江市)
- 【活動部門】  
【優秀賞】  
●つどえる拠点&ゲストハウス コイサイド (邑南町)
- 【奨励賞】  
●空き家て人をつなぐ (ヨコハマcoffee、よこばまギャラリー) (松江市)  
●栗寅 (大田市)  
●どっこい舎 (松江市)
- 【特別賞】  
●蔵宿 うずまき (奥出雲町)  
●レンタルスペース&キッチン 金吉屋 (奥出雲町)  
●禾と恵に咲くお宿 まつ (奥出雲町)

## 令和4年度

- 【建築物部門】  
【最優秀賞】  
●黒のアトリエ (出雲市)
- 【優秀賞】  
●思い出を継ぐ家 (出雲市)  
●道の駅 ざいせ仁摩 (大田市)  
●出雲国二ノ宮 神在の社 佐太神社 佐陀神能舞殿 (松江市)  
●Ichimura Project / TRATTORIA キッツキ (江津市)  
●ホテル畑 (松江市)
- 【奨励賞】  
●緑嶺山荘別邸 (松江市)  
●四重奏の屋根 (出雲市)  
●とうき皮フ科クリニック (出雲市)  
●清田の家 (雲南市)
- 【活動部門】  
【優秀賞】  
●「地域見守りたい!」地・学連携による 空き家活用プロジェクト (出雲市)  
●enun 縁雲 (松江ニューアーバンホテル コワーキングスペース) (松江市)
- 【奨励賞】  
●都野津町街歩きイベント「つめさんぽ」 (江津市)  
●津和野高校 断熱改修ワークショップ (津和野町)  
●子どもの本 つ〜ぼ (安来市)

《主催》 島 根 県

《後援》 (一社) 島根県建築住宅施策推進協議会

(一社) 島根県建築士会、(一社) 島根県建築士事務所協会、(一社) 島根県建設業協会、(一社) 島根県建築技術協会、(一社) 島根県住まいづくり協会、  
(一社) 島根県建築組合連合会、(一社) 島根県電業協会、(一社) 島根県管工事業協会、(一社) 島根県浄化槽協会、(一社) 島根県木材協会、  
石州瓦工業組合、島根県建具協同組合、島根県畳事業協同組合、協同組合建築技術センター、(一財) 島根県建築住宅センター、(公社) 全日本不動産協会島根県本部、  
(一社) 日本塗装工業会島根県支部、(公社) 島根県宅地建物取引業協会、島根県瓦工事業組合、島根県東部地区瓦工事業組合

令和 6 年 3 月発行

島根県土木部建築住宅課